

SUNCORPORATION

通信モジュール一体型ルータ



CLI 設定機能説明書

<http://www.sun-denshi.co.jp/sc/>

更新履歴

更新日	更新内容
2021.12.16	初版

本書では、SSH を利用したコマンド操作の概要とコマンド書式について記載しております。
対応バージョンファームウェアバージョン：Version 2.0.0 以降

目次

更新履歴	2
------------	---

1 章 Rooster DRX のコマンド概要.....5

1-1. コマンド操作の基本	5
1-2. CLI での接続	6
1-2-1. 通信の仕組み	6
1-2-2. 通信手順	7
1-2-3. 通信フォーマット	9
1-3. ユーザ補助コマンド	10
1-3-1. コマンド一覧の表示	10
1-3-2. コマンドの入力補完	11

2 章 基本コマンド12

2-1. 情報を表示する	12
2-2. ログインパスワードの設定	13
2-3. 時刻の設定	14
2-4. 情報をアップデートする	15
2-4-1. ファームウェアの更新 (FTP / TFTP)	15
2-5. 設定ファイルを転送する	16
2-5-1. 設定ファイルの転送 (FTP / TFTP)	16
2-6. ログファイルをサーバに転送する	17
2-6-1. ログファイルの転送 (FTP / TFTP)	17
2-7. 設定情報を転送する	18
2-7-1. 設定ファイルの転送 (FTP / TFTP)	18
2-8. PING 確認する	19
2-9. ネットワーク経路の表示	20
2-10. 診断情報を取得する	21
2-10-1. 診断情報の取得 (FTP / TFTP)	21
2-11. リセットする	22
2-11-1. 本体のリセット	22
2-11-2. モバイル通信端末の電源入れ直し	22
2-12. 回線を接続／切断する	23
2-12-1. 回線の接続	23
2-12-2. 回線の切断	24
2-13. 情報を消去する	25
2-13-1. すべての設定内容の消去	25
2-13-2. ログの消去	25
2-13-3. ARP テーブルの消去	25

2-14. ブートエリアの切り替え	26
2-15. シャットダウンする	27
2-16. コンソールを終了する	27

3 章	表示コマンドの詳細	28
3-1.	ARP テーブルの表示	28
3-2.	ブートエリアの表示	28
3-3.	ログの表示	29
3-4.	MAC アドレスの表示	29
3-5.	モバイル通信端末の表示	30
3-5-1.	モバイル端末情報の一覧を表示する	30
3-5-2.	電話番号を表示する	30
3-5-3.	モバイル通信端末のデバイス情報を表示する	31
3-5-4.	端末識別番号情報を表示する	31
3-5-5.	アンテナレベルを表示する	32
3-5-6.	使用周波数を表示する	32
3-6.	シリアル番号を表示する	33
3-7.	ステータスを表示する	33
3-8.	温度情報を表示する	34
3-9.	ファームウェアのバージョンを表示する	34
3-10.	電源電圧情報を表示する	34

1章 Rooster DRXのコマンド概要

CLI で Rooster DRX に接続することで、コンソールからコマンド操作による設定の変更や保存、本体の制御などを行うことができます。ここでは、Rooster DRX のコマンド概要と CLI による接続方法、ユーザ補助コマンドなどについて説明します。

1-1.コマンド操作の基本

Rooster DRX では、次のコマンドを使用して設定や管理操作を行うことができます。

👉 基本的なコマンドの詳細については、『2章 基本コマンド』で説明しています。

コマンド一覧

コマンド	概要	参照先
show	システムの情報を一覧表示します。	👉『2-1.情報を表示する』
password	ログインパスワードを変更します。	👉『2-2.ログインパスワードの設定』
date	時刻の設定を行います。	👉『2-3.時刻の設定』
update	ファームウェアを更新します。	👉『2-4.情報をアップデートする』
upload	設定ファイルやログを転送します。	👉『2-5.設定ファイルを転送する』 👉『2-6.ログファイルをサーバに転送する』
download	設定情報を転送します。	👉『2-7.設定情報を転送する』
ping	ネットワークへの疎通を確認します。	👉『2-8.PING を確認する』
tracert	ネットワーク経路を表示します。	👉『2-9.ネットワーク経路の表示』
report	診断情報を表示します。	👉『2-10.診断情報を取得する』
reset	本体・通信モジュールをリセットします。	👉『2-11.リセットする』
connect	回線に接続します。	👉『2-12-1.回線の接続』
disconnect	回線を切断します。	👉『2-12-2.回線の切断』
clear	本体の設定内容やログを消去します。	👉『2-13.情報を消去する』
change	ブートエリアを切り替えます。	👉『2-14.ブートエリアの切り替え』
shutdown	本体をシャットダウンします。	👉『2-15.シャットダウンする』
exit	コンソールを終了します。	👉『2-16.コンソールを終了する』

1-2. CLIでの接続

Rooster DRX への CLI 接続の仕組みと通信手順について説明します。

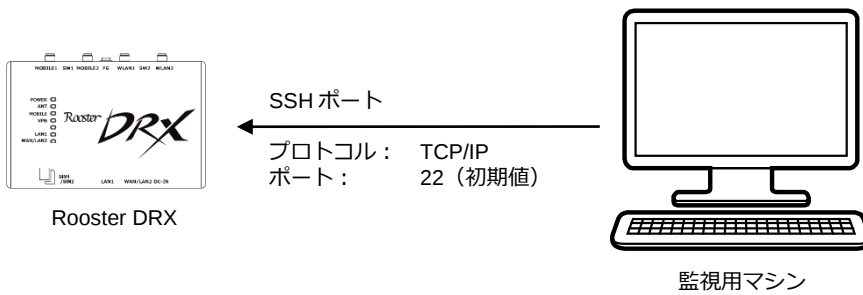
1-2-1. 通信の仕組み

監視用のマシンから、Rooster DRX の SSH ポート（ポート番号：22）に接続し、Rooster DRX の制御を行います。

▶ ポート番号は設定により変更できます。

Rooster DRX は監視用マシンから入力されたコマンドを受信して処理を行います。

また、リザルト（コマンドの実行結果）がある場合は、監視用マシンに送ります。



1-2-2. 通信手順

CLI による Rooster DRX への接続は、以下の手順で行います。

1. 監視用マシンより、Rooster DRX の SSH ポートに接続します。

▶ 工場出荷時は、22 番に設定されています。

2. ログイン名とパスワードを入力して、Rooster DRX にログインします。

▶ 工場出荷時の状態では、ログイン名に「root」、パスワードに「root」が設定されています。

接続例：

```
> SSH 192.168.62.1 22 ↵ ←SSH 接続

login : root ↵ ←ログイン名を入力
password : root ↵ ←パスワードを入力（非表示）
Welcome Rooster maintenance console.
system version : 2.0.0, B21
```

3. 初期パスワードでログインした場合、パスワードの変更を促されます。

設定したいパスワードを 2 回入力して下さい。

▶ 初期パスワードはログイン時に必ず変更ください。その際、推測されにくいパスワードにして下さい。

```
Welcome Rooster maintenance console.
system version : 2.0.0, Jun 7,2021 13:39:09

パスワードが初期設定のままとなっているため、パスワードの変更をお願いいたします。
安心・安全にご使用いただくために、変更をお願いしております。

新しいパスワード(8 文字以上) : 12345678 ↵ ←設定したいパスワードを入力（非表示）
もう一度入力してください : 12345678 ↵ ←設定したいパスワードを再度入力（非表示）
パスワードを変更しました。
current: OK
```



- 入力可能な文字数は、半角英数字、記号で 16 文字までです。
- 8 文字未満のパスワードは設定できません。
- 以下の記号を含む文字列はパスワードに設定できません。
「"」ダブルクォーテーション、「\$」ドルマーク、「:」コロ
「?」クエスチョン、「\」バッククォート、「 」スペース

▶ 新しいパスワード入力中に Esc キー、又は Ctrl+C を入力することでパスワード変更せずに次へ進めます。

🔗 ログイン時にパスワードを変更しない場合でも『2-2. ログインパスワードの設定』で変更できます。

パスワードが初期設定のままとなっているため、パスワードの変更をお願いいたします。
安心・安全にご使用いただくために、変更をお願いしております。

```
新しいパスワード(8 文字以上) : ←Esc、又は Ctrl+C を入力
パスワード変更を延期します。
パスワードを変更できませんでした。
```

4. Rooster DRX から、プロンプトが送信されます。

RoosterOS>

←プロンプトが表示される

5. 監視マシンからコマンドを送信します。

6. Rooster DRX から、リザルト（コマンドの実行結果）が出力されます。

🔗 [手順 4 へ戻る](#)



通信を終了するには、終了コマンド（exit）を使用してください。

1-2-3. 通信フォーマット

通信フォーマットについて記述します。

- コマンド（監視マシン→Rooster DRX）

コマンド	CR (改行)
------	------------

▶ コマンドの詳細は、2 章以降で説明します。

- プロンプト（Rooster DRX→監視マシン）

CR (改行)	LF (復帰)	R	o	o	s	t	e	r	O	S	>	␣
------------	------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

▶ 「␣」は半角スペースを意味しています。

- リザルト（Rooster DRX→監視マシン）

リザルト	CR (改行)	LF (復帰)
------	------------	------------

▶ リザルトの詳細は、2 章以降で説明します。

※文字コードは UFT-8 形式となります。

1-3. ユーザ補助コマンド

コマンド操作をする上で役に立つ補助コマンドについて説明します。

1-3-1. コマンド一覧の表示

機能	コマンド一覧を表示します。
コマンド	?
パラメータ	なし
動作	実行例：<pre>RoosterOS> ←?を入力 apply -- apply configuration ※ ←コマンド一覧が表示される change -- change the system behavior ←ブート面の切り替え clear -- clear data ←情報の削除 connect -- initiate connection ←接続 date -- set the system data and time ←システム時刻の表示 disconnect -- terminate connection ←切断 download -- download file ←設定ファイルの転送 exit -- exit shell ←コンソール終了 noset -- remove configuration ※ password -- change login password ←ログインパスワードの変更 ping -- send ICMP echo request to network hosts ←pingを実行 report -- get system report file ←診断情報の取得 reset -- reboot the machine ←再起動 save -- save configuration ※ set -- set configuration ※ show -- show configuration ←情報の表示 shutdown -- shutdown the machine ←シャットダウンします。 traceroute -- exac traceroute ←通信の経路を調べる update -- update system ←ファームウェアの更新 upload -- upload file ←ログファイルを転送する RoosterOS> show ←コマンド名に続けて?を入力 arp -- show arp table ←ARP キャッシュ表示 boot -- ←カーネルの起動 config -- show configuration ※ log -- show log ※ mac -- show MAC address ←MAC アドレス表示 mobile -- show moble information ← モバイル通信端末の状態表示 serial-number -- show serial-number ←シリアル番号表示 status -- ←ステータスの表示 temperature -- show temperature ←温度センサの温度を表示 version -- firmware version ←ファームウェアバージョンの表示 volt -- show volt ←電源電圧の電圧を表示 RoosterOS></pre>

※本書対応バージョンでは使用しないコマンドです。

1-3-2. コマンドの入力補完

機能	入力途中のコマンドを補完します。
コマンド	Tab キーまたは?
パラメータ	なし
動作	Tab キーで補完する場合の実行例： RoosterOS> shTab RoosterOS> show ←文字を入力して Tab キーを入力 ←コマンドが補完される ?キーで補完する場合の実行例： RoosterOS> sh? RoosterOS> show ←文字を入力して?を入力 ←コマンドが補完される
備考	このコマンドは、Tab キーまたは?を入力した時点で動作します。

2章 基本コマンド

この章では、Rooster DRX の設定／設定内容の表示／設定の無効、システムに反映、本体の制御といった操作を行うための基本コマンドについて説明します。

2-1. 情報を表示する

show コマンドを実行すると、Rooster DRX の情報を表示することができます。

➡ show コマンドの具体的な実行例については、『3 章 表示コマンドの詳細』で説明しています。

表示できる設定内容

情報	概要	参照先
ARP キャッシュ	ARP テーブルを表示します。	➡『3-1. ARP テーブルの表示』
ブートエリアの表示	ブートエリアを表示します。	➡『3-2. ブートエリアの表示』
ログの表示	ログを表示します。	➡『3-3. ログの表示』
MAC アドレスの表示	MAC アドレス情報を表示します。	➡『3-4. MAC アドレスの表示』
モバイル通信端末情報の表示	モバイル通信端末の電話番号などの情報とアンテナレベルを表示します。	➡『3-5. モバイル通信端末の表示』
シリアル番号の表示	Rooster DRX のシリアル番号を表示します。	➡『3-6. シリアル番号を表示する』
ステータスの表示	ステータスを表示します。	➡『3-7. ステータスを表示する』
温度情報の表示	温度センサーの温度情報を表示します。	➡『3-8. 温度情報を表示する』
ファームウェア情報表示	ファームウェアのバージョンを表示します。	➡『3-9. ファームウェアのバージョンを表示する』
電源電圧情報	電源電圧の電圧情報を表示します。	➡『3-10. 電源電圧情報を表示する』

2-2. ログインパスワードの設定

password コマンドを実行すると、ログインパスワードを設定することができます。

機能	ログインパスワードを設定します。
コマンド	password
パラメータ	第 1 パラメータ： パスワード文字列（半角 8 文字以上の文字列）
動作	実行例： <pre>RoosterOS> password ←コマンドを入力 新しいパスワード（8 文字以上）： もう一度入力してください： RoosterOS></pre>
初期値	root



- パスワードは表示されません。
- 入力可能な文字数は、半角英数字、記号で 16 文字までです。
- 8 文字未満のパスワードは設定出来ません。
- 以下の記号を含む文字列はパスワードに設定できません。
「"」ダブルクォーテーション、「\$」ドルマーク、「:」コロン
「?」クエスチョン、「\」バッククォート、「 」スペース



初期パスワードはログイン時に必ず変更ください。
その際、推測されにくいパスワードにして下さい。

2-3. 時刻の設定

date コマンドを実行すると、時刻を設定することができます。

機能	時刻を設定します。
コマンド	date set
パラメータ	第1パラメータ： 時刻データ (YYYY-MM-DD HH:MM:SS)
動作	実行例： RoosterOS> date set 2021-01-12 03:45:56 ←コマンドを入力 RoosterOS>
初期値	なし



- JST（日本標準時）で入力ください。

2-4. 情報をアップデートする

update コマンドを実行すると、Rooster DRX のファームウェアを更新することができます。

2-4-1. ファームウェアの更新 (FTP / TFTP)

機能	FTP / TFTP を使用してファームウェアを更新します。
コマンド	update firmware
パラメータ	第 1 パラメータ： ファームウェアのファイル名 第 2 パラメータ： プロトコル (tftp, ftp) 第 3 パラメータ： FTP サーバの IP アドレス 第 4 パラメータ： ユーザ名 （プロトコルが tftp の場合は不要） 第 5 パラメータ： パスワード（プロトコルが tftp の場合は不要）
動作	実行例： RoosterOS> update firmware rooster.rsys ftp 192.168.62.103 user pass download firmware...done install firmware...done post-processing of firmware update...UBI device number 1, total 376 LEBs (95485952 bytes, 91.0 MiB), available 0 LEBs (0 bytes), LEB size 253952 bytes (248.0 KiB) done RoosterOS>
備考	ファームウェアのダウンロードは 60 分以内で行ってください。

2-5. 設定ファイルを転送する

upload コマンドを使用して、設定情報ファイルを指定の FTP サーバに転送することができます。

2-5-1. 設定ファイルの転送 (FTP / TFTP)

機能	設定ファイルを転送します。
コマンド	upload config
パラメータ	第 1 パラメータ： 設定ファイル名 第 2 パラメータ： プロトコル (tftp, ftp) 第 3 パラメータ： FTP / TFTP サーバの IP アドレス 第 4 パラメータ： ユーザ名 (プロトコルが tftp の場合は不要) 第 5 パラメータ： パスワード (プロトコルが tftp の場合は不要)
動作	実行例： RoosterOS> upload config filename ftp 192.168.62.51 user pass ←コマンドを入力 RoosterOS>

2-6. ログファイルをサーバに転送する

upload コマンドを使用して、ログファイルをサーバに転送することができます。

2-6-1. ログファイルの転送（FTP / TFTP）

機能	設定ファイル（ZIP ファイル）を転送します。
コマンド	upload log
パラメータ	第 1 パラメータ： プロトコル（tftp, ftp） 第 2 パラメータ： FTP / TFTP サーバの IP アドレス 第 3 パラメータ： ログファイル 第 4 パラメータ： ユーザ名（プロトコルが tftp の場合は不要） 第 5 パラメータ： パスワード（プロトコルが tftp の場合は不要）
動作	実行例： RoosterOS> upload log ftp 192.168.62.51 userlog user pass ←コマンドを入力 RoosterOS>

2-7. 設定情報を転送する

download コマンドを使用して、設定情報をサーバに転送することができます。

2-7-1. 設定ファイルの転送（FTP / TFTP）

機能	設定ファイルを転送します。
コマンド	download config
パラメータ	第 1 パラメータ： プロトコル (tftp, ftp) 第 2 パラメータ： FTP / TFTP サーバの IP アドレス 第 3 パラメータ： 設定ファイル名 第 4 パラメータ： ユーザ名 (プロトコルが tftp の場合は不要) 第 5 パラメータ： パスワード (プロトコルが tftp の場合は不要)
動作	実行例： RoosterOS> download config ftp 192.168.62.51 filename user pass RoosterOS> ↑コマンドを入力

2-8. PING確認する

ping コマンドを使用して、ネットワークの疎通確認をすることができます。

機能	ネットワークの疎通確認をします。
コマンド	ping
パラメータ	第 1 パラメータ： ping を実行する対象のアドレス
動作	実行例： <pre>RoosterOS> ping 192.168.62.133 ←コマンドを入力 PING 192.168.62.133 (192.168.62.133): 56 data bytes ←実行結果が表示される 4 bytes from 192.168.62.133: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.133: icmp_seq=1 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.133: icmp_seq=2 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.133: icmp_seq=3 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.133: icmp_seq=4 ttl=128 time=0.0 ms -- 192.168.62.133 ping statistics --- 5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss round-trip min/avg/max = 0.0/0.0/0.0 ms RoosterOS></pre>
備考	VPN 先のネットワークには、使用できません。

2-9. ネットワーク経路の表示

tracroute コマンドを使用して、ネットワークの経路を表示することができます。

機能	ネットワークの経路表示をします。
コマンド	tracroute
パラメータ	第 1 パラメータ：tracroute を実行する対象のアドレス
動作	実行例：<pre>RoosterOS> tracroute www.sun-denshi.co.jp ←コマンドを入力 ↓実行結果が表示される tracroute to www.sun-denshi.co.jp (124.108.39.155), 30 hops max, 46 byte packets 1 192.168.225.1 (192.168.225.1) 0.824 ms 2.001 ms 0.693 ms 2 110.158.48.33 (110.158.48.33) 55.630 ms 62.404 ms 61.723 ms . . . 12 www.sun-denshi.co.jp (124.108.39.155) 110.726 ms 57.324 ms 39.766 ms RoosterOS></pre>
備考	

2-10. 診断情報を取得する

report コマンドを使用して、診断情報を取得することができます。

2-10-1. 診断情報の取得（FTP / TFTP）

機能	診断情報を取得します。
コマンド	report
パラメータ	第 1 パラメータ： プロトコル (tftp, ftp) 第 2 パラメータ： ftp/tftp サーバの IP アドレス 第 3 パラメータ： ユーザ名 (プロトコルが tftp の場合は不要) 第 4 パラメータ： パスワード (プロトコルが tftp の場合は不要)
動作	実行例： RoosterOS> report ftp 192.168.62.133 user pass ←コマンドを入力 RoosterOS>

2-11. リセットする

reset コマンドを使用して、本体をリセットしたり、モバイル通信端末の電源を入れ直したりすることができます。

2-11-1. 本体のリセット

機能	コマンドの入力後に実行確認が行われると、本体はリセットし、コールドスタートします。
コマンド	reset system
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> reset system ←コマンドを入力 RoosterOS> ←リセットされる

2-11-2. モバイル通信端末の電源入れ直し

機能	モバイル通信端末の電源を入れ直します。
コマンド	reset mobile
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> reset mobile ←コマンドを入力 RoosterOS>

2-12. 回線を接続／切断する

コマンドを使用して、指定された回線へ接続したり切断したりすることができます。

2-12-1. 回線の接続

機能	指定した回線に接続します。
コマンド	connect
パラメータ	第 1 パラメータ： 回線 (interface、ipsec、mobile) 第 2 パラメータ： ネットワーク名、プロファイル名 ▶ 第 1 パラメータで interface を選択した場合、第 2 パラメータにネットワーク名を指定します。 ▶ 第 1 パラメータに ipsec を選択した場合、第 2 パラメータに ipsec のプロファイル名を指定します。
動作	インターフェースに接続する場合： RoosterOS> connect interface wan ←コマンドを入力 RoosterOS> IPsec 接続する場合： RoosterOS> connect ipsec profile1 ←コマンドを入力 RoosterOS> モバイル通信端末に接続する場合： RoosterOS> connect mobile ←コマンドを入力 RoosterOS>

2-12-2. 回線の切断

機能	指定した回線を切断します。
コマンド	disconnect
パラメータ	第 1 パラメータ： 回線 (interface、 mobile、 ipsec、 pptp-server、 l2tp-ipsec-server) 第 2 パラメータ： ネットワーク名、プロファイル名 ▶ 第 1 パラメータで、 ・ interface を選択した場合、ネットワーク名 ・ ipsec を選択した場合、プロファイル名 ・ pptp-server、l2tp-ipsec-server を選択した場合、接続しているネットワーク名を指定します。
動作	モバイル通信端末を切断する場合： <pre>RoosterOS> disconnect interface wan ←コマンドを入力 RoosterOS></pre> mobile を切断する場合： <pre>RoosterOS> disconnect mobile ←コマンドを入力 RoosterOS></pre> IPsec を切断する場合： <pre>RoosterOS> disconnect ipsec profile1 ←コマンドを入力 RoosterOS></pre> PPTP を切断する場合： <pre>RoosterOS> disconnect pptp-server pptp0 ←コマンドを入力 RoosterOS></pre> L2TP/IPsec を切断する場合： <pre>RoosterOS> disconnect l2tp-ipsec-server l2tp0 ←コマンドを入力 RoosterOS></pre>

2-13. 情報を消去する

clear コマンドを使用して、設定内容やログ、ARP テーブルを消去することができます。

2-13-1. すべての設定内容の消去

機能	設定内容をすべて消去し、工場出荷時の状態に戻します。
コマンド	clear config
パラメータ	なし
動作	実行例： <pre>RoosterOS> clear config ←コマンドを入力 RoosterOS></pre>

2-13-2. ログの消去

機能	ログを消去します。
コマンド	clear log
パラメータ	第 1 パラメータ： ログ消去対象 (addresss、ble、dhcp、heartbeat、ipsec、l2tp、mobile、ppp、pptp、sundms、system、wan、wlan) (省略可能)
動作	実行例： <pre>RoosterOS> clear log ←コマンドを入力 RoosterOS></pre>
備考	第 1 パラメータを省略した場合、全てのログを消去します。

2-13-3. ARPテーブルの消去

機能	ARP テーブルを消去します。
コマンド	clear arp
パラメータ	第 1 パラメータ： arp
動作	実行例： <pre>RoosterOS> clear arp ←コマンドを入力 RoosterOS></pre>

2-14. ブートエリアの切り替え

起動するブートエリアを切り替えます。

機能	ブートエリアを切り替えます。
コマンド	change boot
パラメータ	第 1 パラメータ： 起動画面（a-side：A 面、b-side：B 面、another：別の面）
動作	実行例：<pre>RoosterOS> change boot a-side RoosterOS></pre> ←コマンドを入力

2-15. シャットダウンする

shutdown コマンドを使用して、DRX 本体をシャットダウンします。

機能	本体をシャットダウンします。
コマンド	shutdown
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> shutdown ←コマンドを入力 RoosterOS>

2-16. コンソールを終了する

コンソールを終了するには、exit コマンドを実行します。

機能	コンソールを終了します。
コマンド	exit
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> exit ←コマンドを入力 RoosterOS>

3-3. ログの表示

ログを表示します。

機能	ログを表示します。
コマンド	show log
パラメータ	第 1 パラメータ： ログ表示対象（addressss、ble、dhcp、heartbeat、ipsec、l2tp、mobile、ppp、pptp、sundms、system、wan、wlan） 第 2 パラメータ：表示件数（省略可能）
動作	実行例： RoosterOS> show log system ←コマンドを入力 May 28 18:35:20:ログシステムを開始します。 ←ログが出力される May 28 18:35:33:シンプル WebUI を開始します。 May 28 18:35:33:loopback:インターフェースが UP 状態になりました。 May 28 18:35:42:時刻自動設定サービス（通信モジュール）を開始します。 May 28 18:35:20:ログシステムを開始します。 May 28 18:35:20:ログシステムを停止します。 Jun 10 19:56:02:ログシステムを開始します。 Jun 10 19:56:21:lan:インターフェースが UP 状態になりました。 Jun 10 19:56:23: loopback:インターフェースが UP 状態になりました。 RoosterOS>
初期値	なし

3-4. MACアドレスの表示

本体の MAC アドレスを表示します。

機能	本体の MAC アドレスを表示します。
コマンド	show mac
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> show mac ←コマンドを入力 00:80:F3:70:00:00 ←LAN1 の MAC アドレスを表示 00:80:F3:70:00:01 ←LAN2/WAN の MAC アドレスを表示 RoosterOS>
初期値	なし

3-5. モバイル通信端末の表示

モバイル通信端末の情報を表示します。

3-5-1. モバイル端末情報の一覧を表示する

機能	モバイル通信端末の情報一覧を表示します
コマンド	show mobile
パラメータ	なし
動作	実行例：<pre>RoosterOS> show mobile ←コマンドを入力 imei : 358290109980131 ←モバイル通信端末の IMEI tel : 02012345678 ←電話番号 manufacturer : AM Telecom ←モバイル通信端末のメーカー model : AMM574 ←モバイル通信端末のモデル名 version : 14-12 ←モバイル通信端末の FW バージョン iccid : 8981300023749834976 ←モバイル通信端末の ICCID 値 antenna-level : 4 ←アンテナレベル power : -76.60 ←電波強度 (dBm) quality : -6.40 ←電波品質 frequency : 1930.00 ←使用周波数 (MHz) RoosterOS></pre>
備考	取得不可な項目は、空欄となります

3-5-2. 電話番号を表示する

機能	モバイル通信端末の電話番号を表示します。
コマンド	show mobile telno
パラメータ	なし
動作	実行例：<pre>RoosterOS> show mobile telno ←コマンドを入力 tel : 08012345678 ←電話番号が出力される RoosterOS></pre>
備考	SIM 契約により電話番号が表示されない場合があります。

3-5-3. モバイル通信端末のデバイス情報を表示する

機能	モバイル通信端末のデバイス情報を表示します。
コマンド	show mobile devinfo
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> show mobile devinfo ←コマンドを入力 manufacturer : AM Telcom ←モバイル通信端末のメーカー model : AMM574 ←モバイル通信端末のモデル名 version : 14-12 ←モバイル通信端末の FW バージョン iccid : 89813009920000XXXX ←モバイル通信端末の ICCID 値 RoosterOS>
備考	取得不可な項目は、空欄となります。

3-5-4. 端末識別番号情報を表示する

機能	モバイル通信端末の端末識別番号情報（IMEI）を表示します。
コマンド	show mobile imei
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> show mobile imei ←コマンドを入力 imei : 0049990106XXXXX ←端末識別番号情報が出力される RoosterOS>
備考	取得不可な項目は、空欄となります。

3-5-5. アンテナレベルを表示する

機能	モバイル通信端末の現在のアンテナレベルを表示します。
コマンド	show mobile antenna-level
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> show mobile antenna-level ←コマンドを入力 antenna-level : 4 ←アンテナレベルが出力される RoosterOS>
備考	アンテナレベルの数値の範囲は以下のとおりです。 0：圏外（-131dBm 未満、測定不能） 1：電波 1（-131~-123dBm） 2：電波 2（-121~-115dBm） 3：電波 3（-113~-103dBm） 4：電波 4（-101dBm 以上） 取得に失敗した場合、「antenna-level: 」が表示されます。

3-5-6. 使用周波数を表示する

機能	モバイル通信端末が使用している電波の周波数を表示します。
コマンド	show mobile freq
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> show mobile freq ←コマンドを入力 frequency : 1947.6 ←使用周波数（MHz）が表示される RoosterOS>
備考	- 取得できた場合、「frequency：<周波数>」と出力されます。 - 単位は、MHz です。 - 取得に失敗した場合、「frequency：」のみが出力されます。

3-6. シリアル番号を表示する

Rooster DRX のシリアル番号を表示します。

機能	Rooster DRX のシリアル番号を表示します。
コマンド	show serial-number
パラメータ	なし
動作	実行例： RoosterOS> show serial-number ←コマンドを入力 DR0101A123456 ←製造番号情報が表示される RoosterOS>

3-7. ステータスを表示する

ステータスを表示します。

機能	ステータスを表示します。
コマンド	show status
パラメータ	第 1 パラメータ： 以下の表示対象 connection： 接続情報の表示 firewall： ファイヤーウォールの設定内容表示 ipsec： ipsec ステータス l2tp-ispec-server： L2TP インターフェースの状態 pptp-server： PPTP インターフェースの状態 process： プロセスを表示 route： 経路情報の表示 system： システム情報の表示 trigger： 使用できません (将来の FW バージョンアップで使用します)
動作	実行例： RoosterOS> show status system ←コマンドを入力 hostname :DRX ←ステータスが表示される firmware version:RoosterOS 2.0.0 B17 uptime :up 59 minutes boot area :a-side RoosterOS>

3-8. 温度情報を表示する

温度センサの温度情報を表示します。

機能	温度センサの温度情報を表示します。
コマンド	show temperature
パラメータ	なし
動作	実行例： <pre>RoosterOS> show temperature ←コマンドを入力 temperature : 42.7 ←温度情報が表示される RoosterOS></pre>

3-9. ファームウェアのバージョンを表示する

ファームウェアのバージョンを表示します。

機能	ファームウェアのバージョンを表示します。
コマンド	show version
パラメータ	なし
動作	実行例： <pre>RoosterOS> show version ←コマンドを入力 2.0.0 B17 ←ファームウェアのバージョンが表示される RoosterOS></pre>

3-10. 電源電圧情報を表示する

電源電圧情報を表示します。

機能	Rooster DRX の電源電圧情報を表示します。
コマンド	show volt
パラメータ	なし
動作	実行例： <pre>RoosterOS> show volt ←コマンドを入力 volt : 11.8 ←電源電圧情報が表示される RoosterOS></pre>

■ 最新情報の入手

Rooster DRX に関する最新情報は、弊社ホームページから入手することができます。
また、バージョンアップ情報につきましても公開しております。

- 製品紹介ページ

<http://www.sun-denshi.co.jp/sc/>

■ ご質問・お問い合わせ

Rooster DRX に関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

ユーザーサポートセンター

- | | |
|--------|--|
| • 電話 | 0587-53-7606 |
| • FAX | 0587-53-0815 |
| • メール | support-suncomm@sun-denshi.co.jp |
| • 受付時間 | 月曜～金曜 10:00～16:00（12:00～13:00 を除く）
祝日、弊社休日を除く |